

2011年8月18日

お客様各位

マースク株式会社
MCCトランスポート事業本部

日本発アジア向け Japan Origin Documentation Fee 改定のご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、MCCトランスポートでは、関連諸費用の増加のため Documentation Fee の見直しを行い、日本発アジア域内向けのお船積みに関しまして、2011年10月1日より料率を下記のとおり改定させていただくこととなりました。新料率は、同日以降に輸出地 CY に搬入される貨物の船積書類に対して適用されます。

今後とも高品質かつ安定的なサービスをご提供して行く所存でございますので、お客様のご理解とご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。ご不明な点は弊社営業部またはカスタマーサービス部までお問い合わせ下さい。

敬具

記

【適用開始日】 2011年10月1日（輸出地 CY 貨物搬入ベース）

【対象航路】 日本発 アジア域内各国^(*)向け

【サーチャージ名】 Documentation Fee - Origin

【改定額】 現行 B/L 1件あたり JPY1,500

新料率 B/L 1件あたり JPY2,000

なお、現在 SeaNaccs などの E-ツール以外で提出された S/I に対してお支払いいただいております「Manual Documentation Processing Fee」につきましては、同日付けで廃止させていただきます。

^(*)アジア域内取扱国 *Bangladesh, Brunei, Cambodia, China, Hong Kong, Indonesia, Japan, Malaysia, Mongolia, Myanmar, Philippines, Singapore, South Korea, Taiwan, Thailand, Vietnam, and Far East Russia.*

以上